

## 有限会社 アルファー精機

### 自らの経験、技術を生かし、 オリジナル製品を開発

農業と金属加工業。  
その両立から生まれたオリジナル製品で、  
ものづくりの世界をたくましく生き抜く。

#### 軽トラ用の幌（ほろ）を製造

田畑がどこまでも続く平鹿平野。その一角にあるアルファー精機は、精密部品の金型パーツ、コンプレッサーやスプレーガン、自動車関連の部品製造、弱電部品の設計・加工・組立などを手がけている。さらに近年は、軽トラック用の幌の製造・販売に力を入れている。

製造を始めたのは平成5年ごろから。年々改良を重ねて、今年4月には止め金具が特許を取得した。「全自動車メーカー対応」「取り付けに穴あけ不要」「左右両方からの開閉可能」「20秒で取り外しOK」など、ユーザー目線に立った使い勝手の良さ、錆に強い骨組み、耐候性が高いシートなど優れた品質が評価され、秋田県内はもとより、ウェブを通じて全国から注文が寄せられている。

#### 「農家」「技術者」両方の経験を生かす

同社の伊藤博社長は、農業を続けながら、会社を経営してきた。

高校卒業後、家業であった農業に取り組みつつ、ものづくりや電気の仕事に興味があったため、家電修理店に就職。その後、大仙市に進出した大手コンプレッサーメーカーの本社で研修を積み、昭和49年、その協力工場として「伊藤製作所」を立ち上げた。

そして、コンプレッサーの部品を製造しながら、金型



パーツや自動車部品も手掛けるなど事業を拡大し、平成3年に「有限会社アルファー精機」として法人化。幌の開発に着手したのは、ちょうどそのころだ。「最初は自分が農作業に使うために作り始めた」という。それがいつしか口コミで話題となり、周囲の農家に「自分にも作ってほしい」と頼まれるようになっていた。開発に役に立ったのは、農家としての経験と金属加工で培った知識、技術だった。

#### 大手自動車メーカーが注目

手作りの幌は、秋田ではおなじみの農業の祭典「種苗交換会」や、都内をはじめとする県外のイベントへの出展を通して広く知られるようになり、今や大手自動車メーカーや販売店から引き合いが寄せられるほど。昨年は、岩手県雫石町で開催された「全国軽トラ市inしずくいし」で、視察に来ていた自動車メーカー経営者らの注目を集めた。その際に持参したチラシは、当センターのデザイン分野の専門家派遣を受けて制作。「ユーザーの視点に立った写真や文章で構成され、自分たちで作っていたものとは違う切り口で商品をアピールできた」と伊藤社長。今後もチラシを携えて営業活動を展開し、幌の魅力を発信していく予定だ。B



“あおり”に穴や傷をつけずに幌を取り付けられる新開発のMZ金具。(4月に特許取得)



伊藤社長(写真左)と専務である息子さん(写真右)。右は、専門家派遣を利用し、制作したチラシ。



### 有限会社アルファー精機

秋田県横手市平鹿町浅舞字大中島140

TEL.0182-24-0856

FAX.0182-24-0816

http://www.alpha-seiki.jp